

New model

昇降浴槽 エレベートバス ET-100



SAKAI 

肢体不自由患者を入浴させる困難さは、経験したものでな

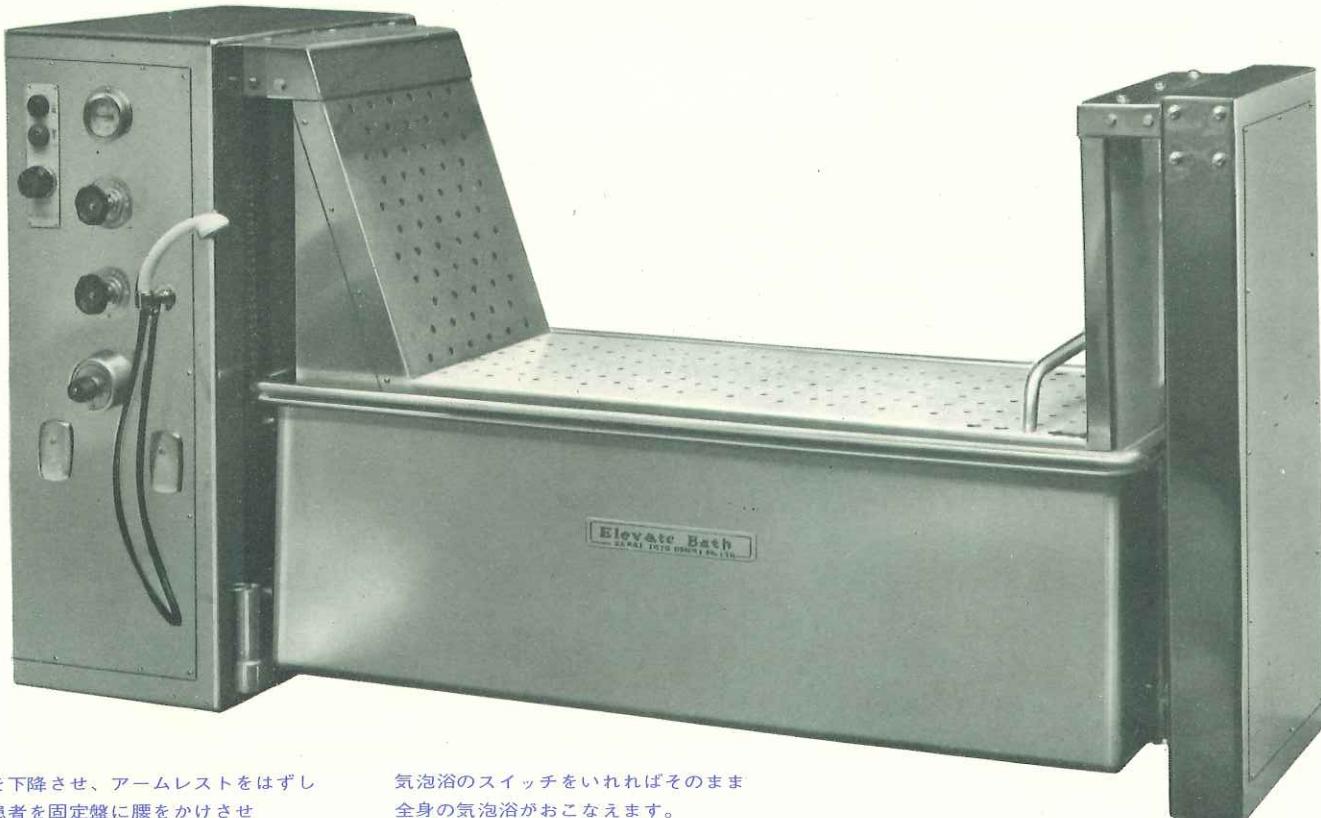
New model

昇降浴槽 エレベートバス ET-100

水治療法器械の酒井は、またまた画期的な新製品を生みだしました。お湯の入ったままの浴槽が昇降する『エレベートバス』がそれです。肢体の不自由な患者を入浴させるという、経験したものでなければわからない困難さをこの装置は、みごとに解決しました。

患者さんは浴槽上方の固定盤に腰をかけ、両足をもちあげるだけ、あとはお湯の入った浴槽が上昇して、患者さんはひとりでに入浴している、というしくみです。ですから患者さんが片足で立ったり、浴槽の縁を

またいだり不安定な重心を移動させるという危険は全くありませんし、介助の方も患者さんの全体重を支えるような労力もいりません。固定盤は気泡発生板を兼ねていますから、本体の気泡浴スイッチをいれれば、そのまま全身の気泡浴がおこなえ、患者さんは安定した楽な姿勢で治療がうけられます。まったく手のかからない治療器です。もちろん、浴中徒手矯正や浴中マッサージをおこなう場合も術者は立ったまゝ、疲れない姿勢で治療をつづけられるわけです。治療が終れば浴槽は静かに下降して、患者



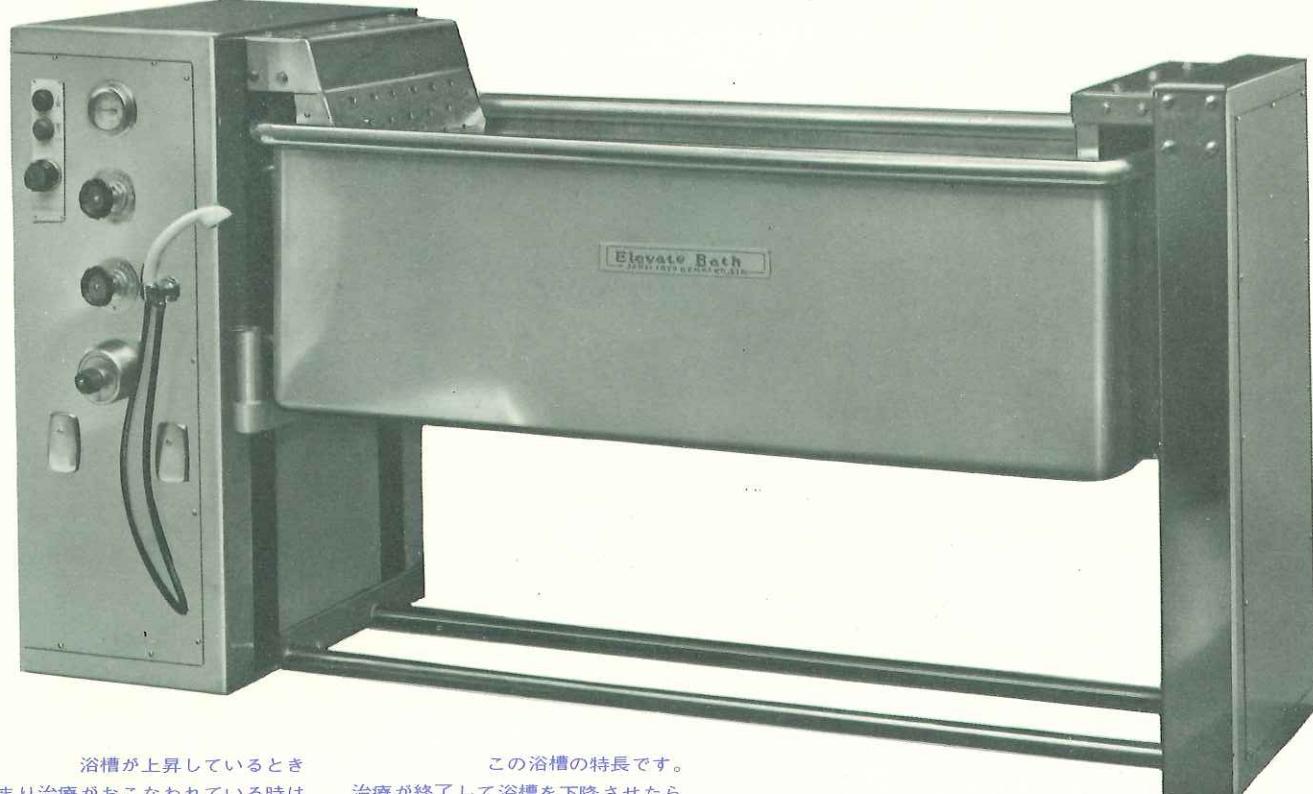
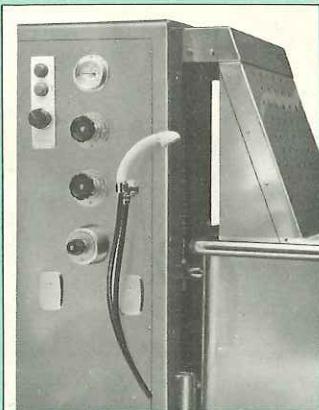
浴槽を下降させ、アームレストをはずします患者を固定盤に腰をかけさせ
つぎに両下肢を固定盤上に持ちあげさせれば
患者の側の準備はすべてO.K。
あとは術者が浴槽を上昇させるだけです。
固定盤は気泡発生盤を兼ねていますから

気泡浴のスイッチをいれればそのまま
全身の気泡浴がおこなえます。
冬期など固定盤が冷えているときは
あらかじめ浴槽を上昇させ
固定盤をお湯であたためてから
下降させてください。

とわかりません。

さんは、そのままの姿勢で浴槽から出られます。固定盤からおりるまえに本体に備えつけられたサーモスタットミキシングバルブのついたシャワーでよく体をながしてください。あがり湯をタップリかけて気持ちよく、キレイにならざらそのままタオルで拭きとれます。固定盤からおるときも簡単、むりなく車椅子や運搬車に移せます。浴槽を昇降させるメカニズムは、酒井の技術陣の誇る安全機構、三重の安全装置にまもられています。モーターもすべて二重絶縁で設置、電気的事故の心配もあません。

材質—本体キャビネット及浴槽 ステンレススチール(SUS27)板
寸法—最大長さ 2,220mm、最大巾 800mm
高さ 1,150mm、浴槽高さ 上昇時 1,000mm 下降時 550mm
電気—昇降用モートル(二重絶縁) 3相200V 750W 操作電気容量24V
気泡浴装置(二重絶縁) 単相100V 700W 3段切換
電源—3相200V 10A アース付
単相100V 10A アース付
配管—給湯管20mm、給水管20mm、排水管40mm
附属品—●ハンドシャワー ●サーモスタットミキシングバルブ
(東洋陶器製) ●アームレスト ●足当棒
温水使用量—350ℓ



浴槽が上昇しているとき

つまり治療をおこなわれている時は
術者または介助者は立位の楽な姿勢で

治療や介助者がおこなえます。

浴中マッサージ、浴中徒手矯正などが
自由な姿勢でおこなえることも

この浴槽の特長です。

治療が終了して浴槽を下降させたら

シャワーを患者の全身にかけ

それから拭きとってあげてください。

シャワーの湯も浴槽にたまり

オーバフローされます。



患者を浴槽にいれるのではなく、浴槽が患者をいれてしまします。

